

寒冷地形談話会通信

1995年度 第2号

1995.05.18 発行

事務局：〒113 東京都文京区本郷7丁目3-1
東京大学大学院理学系研究科地理学教室内
寒冷地形談話会事務局（担当、青木）
TEL. 03-3812-2111 (EXT.4580)
FAX. 03-5684-0518 (地理学の事務室)
e-mail. kent@geogr00.geogr.s.u-tokyo.ac.jp

・2月の例会報告

遅くなりましたが、1994年度の2月例会の報告を行います。

演者・演題 岩田修二（東京都立大学・地理）

「東南チベット・雲南の最終氷期の氷河拡大範囲とELAs」

チベット自治区東南部と雲南省北西部の数カ所で氷河地形のマッピングをおこなった結果は、最終氷期の氷河拡大はかなり大きかったが、大規模な氷床は存在しなかったことを示した。調査した地域はつぎの場所である。1)ナムチェバルワ地域：少なくとも5つの氷河が大屈曲点の上流でヤルンツァンポ河の主流に達していて、大きな氷河堰止め湖が形成されていた。大屈曲点自体は氷河によって影響されてはいなかった。2)東ニンチェンタングラ山脈の南面、ポテチュウ谷のゼブ氷河は、最終氷期の後半には谷の下流に30km伸びていた。当時、東ニンチェンタングラ山脈の氷河は横断型谷氷河系を形づくっていたが、氷河と氷河の間にはかなりの無氷域があった。3)メイリシュエシヤン（梅里雪山）・バイマシュエシヤン（白馬雪山）地域：この地域はチベット・雲南境界のメコン河上流部に位置する。現在、メイリシュエシヤンからは谷氷河が主谷底まで達しているが、バイマシュエシヤンでは小さな氷河があるだけである。最終氷期には両山地とも同じように氷河に覆われていた。4)ユロンシュエシヤン（玉龍雪山）はチベット高原の東南の縁に位置する。現在は小規模な氷河しかないが、最終氷期には東西ほぼおなじように氷河が拡大していた。5)現在は氷河のないその南側の4000mクラスの山でも最終氷期には東西ほぼおなじように氷河が拡大していた。現在と氷期の氷河平衡線高度(ELAs)の比較からは、最終氷期におけるチベット高原の乾燥化と、雲南での南西モンスーンの相対的な衰退もしくは前線性降雨の相対的な増加が推定される。

（文責 岩田修二）

小野先生の講演内容に付きましては、近いうちに掲載予定です。お待ち下さい。

・6月（今年度第1回）例会のお知らせ

下記の予定で今年度第1回例会を行います。演者も遠くから来ますので皆様フルってご参加下さい。

「関東山地の谷埋め堆積物，岩塊流」特集

演者・演題

島津 弘（金沢大）：「急勾配溪流の河床地形と土砂移動プロセス」

苅谷愛彦（都立大・院）・三枝 茂（総研大・院）：「完新世に生じた関東山地西部の岩塊流」

<参考文献> 次の文献は今回の講演の参考資料です。手に入る方はご参考になさってください。

★島津 弘(1995)：地形変化の歴史を語る「都民の森」災害。雑誌地理, 40(3), 53-57.

★荻谷愛彦・三枝 茂(1993)：山梨県北部、小島山周辺に分布する岩塊流の成因。季刊地理学, 45, 254-265.

★三枝 茂(1993)：関東山地南部、六本木峠～丸川峠の岩塊流。季刊地理学, 45, 266-268.

・夏の学校のお知らせ(第1報)

今年度の夏の学校は前号で簡単に触れましたとおり、夏休みに富士山で行う予定です。案内者は小岩清水先生にお願いしています。詳しい連絡は次号で行う予定です。

・今年度の会費納入のお願い

今年度の会費納入をお願いいたします。郵便局の振り込みでできます。郵便料金の値上げなど、多少支出も増加しましたが、幾分繰越金もありますので、今年度は会費は値上げせず、据え置きで行くことになりました。

寒冷地形談話会 00100-9-171342 1,500円/年 です

また、お送りいたしました封筒の宛名書きのタックシールに記載されている数字は、会費未納の年度です(93,94と記されている方は93年度、94年度および今年度が未納と言うことです)。この点に関して、前号で分かりにくい表記であったためご迷惑をお掛けいたしました。申し訳ありませんでした。3年間以上、会費未納入の場合は来年度以降の会報の発送を停止することもありますので、よろしくお願いいたします。

・名簿作成ご協力をお願い

名簿の作成を行うため、必ず会費の振込用紙にお名前と所属、会報発送先の郵便番号、住所、機関名、電話番号(内線番号を含む)、FAX番号を会報が届きますように正確にご記入のうえ、お振り込みくださるようお願いいたします。また、メールアドレスをお持ちの方は、それもお記入下さい。今後、寒冷地形談話会でもメーリングリストを作成し、事務連絡の簡素化を図っていきたいと思っています。「ac.jp」や「go.jp」のアドレスを持っていられる方、nifty や PC-VAN、BITNET などの一般ネットワークでも構いませんので、必ずお知らせ下さい。

(例) 青木賢人(東京大・院) 〒113 文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院理学系研究科地理学専攻

tel. 03-3812-2111(ext.4580)

e-mail. kent@geogr00.geogr.s.u-tokyo.ac.jp

昨年度の名簿は「空欄だらけで使いにくい」というご指摘を多くの方から頂きました。今年は何とかグレードアップを図りたいと思っていますので、6月中をメドにお願いいたします。

・投稿のお願い

一昨年度より始まりました「山岳研究气象台」ですが、ご好評をいただいていますので、本年度も引き続き行っていききたいと思っています。これまでは、事務局の方からお願いして書いていただきましたが、「こんなことを書いてみたい」ということがありましたら、ぜひ、ご投稿ください。事務局へのご批判やご希望でも結構ですので、会員の交流を活発にするためにも、どしどしお寄せください。お待ちしております。また、「例会でこんな話が聞きたい」というようなご要望や、巡検のお知らせなどの情報がありましたら、併せてお知らせください。なお、事務局への連絡は、題名の下に書きました住所、電話番号、FAX、e-mail などをお使いの上、お願いいたします(不在のことが多いので、電話以外の方法が良いかと思います。e-mail が best です)。